

瀬戸内海の恵みを受けて育ったカキは 栄養たっぷりで評価も高い



ジュウジュウと音を立てて焼き上がったカキは、瀬戸内海のエキスがたっぷり

岡山県のカキの収穫量は、広島県、宮城県に次いで全国第3位。そして、備前市日生町と瀬戸内市が県内の約9割を占めています。虫明湾には無数のカキいかだが浮かび、美しい絵画を見ているよう。今年1月に開かれた『カキまつり』会場は、あふれんばかりの人出でした。

「瀬戸内のカキはおいしい」といわれます。瀬戸内海ならではの特徴は、「穏やかで、魚の種類が豊富なこと。カキのえさになるプランクトンが豊富で、波も穏やか。いかだの被害が少なくカキ養殖に適している」と、邑久町漁業協同組合専務の横山満朋さんが話してくれました。

瀬戸内市の主な漁業は、カキ養殖、ノリ養殖、鮮魚、塩干類。平成15年度は、カキの水揚げが1、459^ト、ノリが2、503万枚、その他魚

介類が1、282^ト。小型定置網、底引き網、刺し網、流し網、一本釣りなどが行われ、サワラやサゴシ、ゲタ、ヒラメ、エビ、タコ、カニ、メバル、チヌ、アナゴなど、多種類の魚介類を水揚げしています。

牛窓町漁協では鮮魚を牛窓魚市場と岡山中央市場へ、カキは日生へ出荷。牛窓魚市場で小売りもできるよう、便宜も図られています。邑久町漁協では、鮮魚は邑久町漁協魚市場へ出荷し、地元周辺で消費されています。カキは岡山中央市場のほかにも、東京・名古屋・大阪などの主要都市に出荷し、高い人気を得ています。

「生きのいい地元産の新鮮な魚を、地元の皆さんに食べてほしい」と、柴田正行牛窓町漁業協同組合組合長。11月13日に催された『エーゲ海フエスティバル』では、今年豊漁のワタリガニなどを販売。大勢のお客さんが喜んで買い求めています。

苫野久行さん
(42歳・邑久町虫明)
高校卒業後、会社勤めを2年。その後、家業を継ぎカキ養殖の道に。現在、全国漁青連理事。地元では邑久町漁業協同組合青年部長を務め、カキのほか、イワガキやヒオウギ貝などの養殖試験にも積極的に取り組む。



ミネラルたっぷりのカキ1番おいしい時期に味わって

家業を継いでカキ養殖に携わるようになって約20年。カキが順調に育ったときの喜びは大きく、食べてもらって「おいしい」といわれるのが何よりうれしい。

カキは、1月中旬から2月下旬までが1番おいしい時期。ミネラルたっぷりのカキを食べると、元気が出るような気がします。身がプリプリでおいしい時期に、ぜひ味わってほしいですね。

今年2月の土曜日には、黒井山グリーンパークのゆうゆう交流館で、殻付きカキや焼きカキの試食販売を行い、好評でした。

景気や水揚げが厳しい昨今、邑久町漁協青年部は、ヒオウギ貝や夏場に食べられるイワガキの養殖試験など、いろいろな分野に挑戦しています。

温暖な気候が栽培に適し 牛窓は重量野菜の国の指定産地



みずみずしい牛窓のハクサイとキャベツは、全国でもトップブランド

水田地帯と畑作地帯がバランス良くある瀬戸内市。水田も畑も農業用水が整備されているので、農業生産がしやすく、天候に左右されない農業基盤が整っています。

農業生産額は、県内で岡山市、倉敷市に次ぎ3番目。面積規模を考えると、相当なものです。

邑久・長船地域は稲作が中心で、牛窓地域は野菜栽培を中心とした農業が行われています。主な栽培作物は、米、ハクサイ、キャベツ、トウガン、ナンキン、ピーオーネ、ミカン、ミニトマト。ほかに多種類の農作物がありますが、沖縄で栽培している作物が時期をずらせば瀬戸内市でもできるほど、何でも作れておいしいものができるのがこの地域の特徴だとか。

野菜どころの牛窓は、重量野菜の国の指定産地になって

おり、ハクサイ、キャベツの生産量は県内一。JAせとうちによれば、平成16年度の出荷量は、ハクサイが約6、000^ト（15^キ箱40万ケース）、キャベツが約2、900^ト（10^キ箱29万ケース）。県内だけではさばききれず、ハクサイ、キャベツは大阪方面などに出荷されています。秋になると畑はハクサイやキャベツの緑で埋め尽くされ、美しい風景が延々と広がります。

年間雨量が1、100^ミ程度、平均気温が16・0度という瀬戸内特有の温暖な気候で無霜地帯が多く、野菜栽培に適しているといえます。

冬は寒さから守るため、ハクサイを1玉1玉ひもで縛るという手間も惜しみません。その分、「年明けに出荷するハクサイは甘味が増しておいしい」と人気があります。

地産地消が叫ばれて久しくなりますが、新鮮でおいしい農産物を食べることができるとわしたちは幸せです。

藤岡昭平さん
(44歳・牛窓町牛窓)
高校卒業後、園芸専門学校へ進む。その後2年間の渡米研修に参加。帰国後その技術をいかしズッキーニ栽培など積極的に取り組む。



牛窓のハクサイといえば トップブランド

夏はズッキーニ、スイカ、メロン、カボチャ、トウガン、冬はハクサイとキャベツを栽培しています。ハクサイは110^ル、キャベツは50^ル栽培。夫婦と両親の4人で作付けから収穫までを行います。

牛窓は、気候も土壌もよく野菜作りに適しています。丘陵地が多く、昼間暖まった空気が上昇し、夜冷えすぎることがありません。霜にやられるということもなく、2月でもハクサイが青々としています。

牛窓の野菜はほとんど大阪や広島方面へ出荷され、牛窓のハクサイといえどトップブランド。平成7年に品種を替えて、また人気が上昇しました。これは、農家の皆さんの努力のたまものです。

これからも、食べる人や買ってくれる人の気持ちを考え、愛情をもって作っていきます。